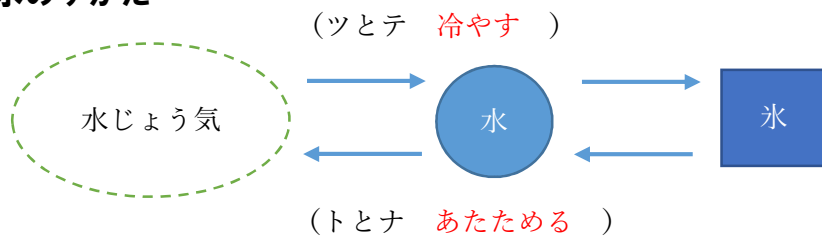


# 理科プリント 物のせいしつとすがたをまとめよう（3月11日）

	空気	水	金ぞく
とじこめると	おされると、体積が（ア <small>小さく</small> ）なる。 おし返す力が（イ <small>大きく</small> ）なる。	おされても、体積は（ウ <small>変わらない</small> ）。	
体積と温度	あたためられると体積が（エ <small>大きく</small> ）なる。 冷やされると体積が（オ <small>小さく</small> ）なる。	あたためられると体積が（カ <small>大きく</small> ）なる。 冷やされると体積が（キ <small>小さく</small> ）なる。 体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと（ク <small>小さい</small> ）。	熱せられると体積が（ケ <small>大きく</small> ）なる。 冷やされると体積が（コ <small>小さく</small> ）なる。 体積の変わり方は、空気や水よりも、ずっと（サ <small>小さい</small> ）。
あたたまり方	あたためられると（シ <small>上</small> ）に動く。 空気は動きながら（ス <small>全体</small> ）があたたまる。	あたためられると（セ <small>上</small> ）に動く。 水は動きながら（ソ <small>全体</small> ）があたたまる。	熱せられたところから熱が伝わり、（タ <small>順【じゅん】</small> ）にあたたまっていき、やがて（チ <small>全体</small> ）があたたまる。

## 水のすがた



水、空気、油、氷、鉄、アルコール、水じょう気をすべて当てはめましょう。

水は熱せられて、（ニ100℃）近くになると中からさかんにあわを出す。これを（ヌふっとう）という。  
水は熱せられると、目に見えない（ネ水じょう気）にすがたをかえる。このことを（ノじょう発）という。  
水は冷やされると（ハ0℃）でこおって、氷になる。氷になると温度はさらに下がる。体積は水とくらべて（ヒ大きく）なる。

	気体	液体	個体
せいしつ	自由に形を変える。	自由に形を変える。	形は変わりにくい。
おもなもの	空気、水じょう気	油、水、アルコール	鉄、氷

空気、水、金ぞくをくらべて、同じところとちがうところを説明しましょう。

（空気、水、金ぞく という言葉をすべて使しましょう）

- ・ 空気も水も金ぞくもあたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる場所は同じ。
- ・ おすと空気は体積が小さくなるが、空気とちがって、水や金ぞくはおしても体積は変わらない。
- ・ あたたまり方は空気と水は似ているが、金ぞくはちがう。